

大崎市



まやまかぐら
真山神楽

まやまかぐら

真山神楽は、昭和45年（1970）4月1日に、

くずおかかぐら

葛岡神楽の舞手高橋与

一氏から南部神楽の教えを受けて真山神楽保存会を設立して継承されている

ものです。そのルーツは、明治16年栗原郡長崎村（現栗原市一迫）の

あかにいだ

沖田東之助より赤新田の泉清治が習得し、赤新田、馬館、葛岡地区の人達

まっただて

に伝講された岩手県一関市羽黒直系達古袋神楽にあります。これまで、昭

たつこだい

和51年（1976）に、宮城県青年文化祭に出演し最優秀賞を受賞、岩手

県南・宮城県北神楽大会で優勝する等、華々しい成績を修めています。演

目には、式五番（鶏舞、三番叟、天岩戸入り、天岩戸開き、さがり）、

さんばそう

あまのいわと

さかきまい

榊舞、

あべのやすな

屋島合戦、曾我兄弟、安部安名、田村一代、魔王祓い等があります。

昭和47年（1972）3月30日岩出

山町指定無形文化財、平成18年（2006）

市町村合併により大崎市指定無形民俗文化

文化財に指定されています。

